

# 5

## 福島第一原子力発電所の事故によって何が起きたの？

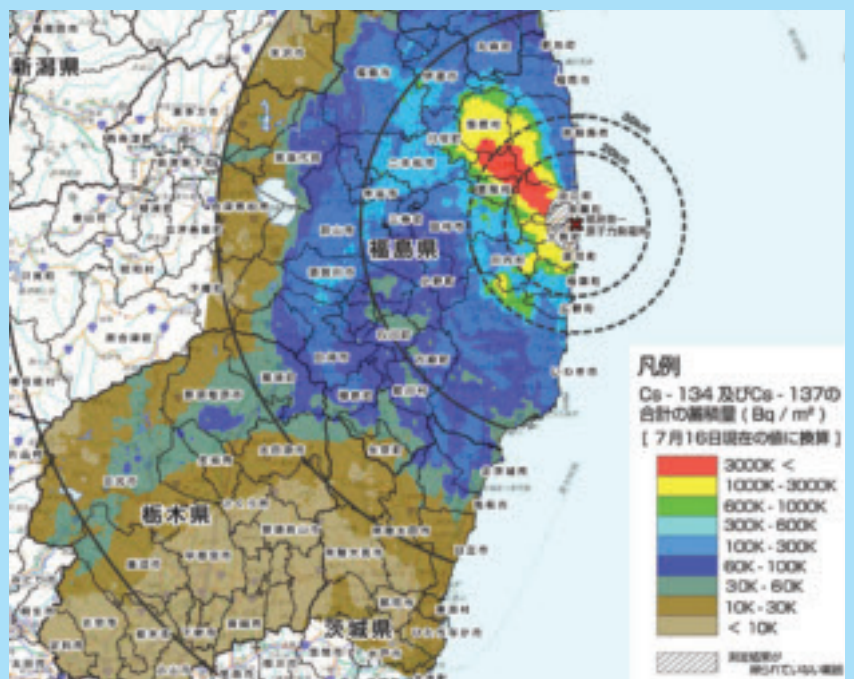
### 答

原子力発電所の事故により、大量の放射性物質が本県にも飛来・降下したことで、放射線量が以前よりも高くなり、被ばくの問題や食品の安全性など、私たちの生活に多大な影響を及ぼしました。

### 事故による影響

今回の事故によって、原子炉内から大気中へ放出された放射性物質は、風に乗って拡散して、雨などにより地表に降り注ぎ、その場所に定着しました。

その結果、自然界に存在した放射性物質に、事故由来の放射性物質が大量に加わり、本県でも、健康への不安が生じ、農林水産物の出荷制限や除染へ対応するなど、県内経済や県民生活等へ多大な影響を及ぼしました。



(出典)原子力規制委員会 放射線モニタリング情報

### 栃木県の対応

#### ①放射能汚染の監視・検査

- 教育機関、保育所などの空間放射線量率の調査
- モニタリングポストなどによる環境放射線の観測
- 廃棄物処理施設等の放射能濃度の測定  
など

- 農産物や流通食品などの放射性物質モニタリング検査
- 基準値を上回る放射性物質が検出されたものは、出荷自粛などを要請
- 学校給食の放射性物質検査  
など

#### ②放射能汚染への対応

- 放射線量低減対策  
(学校等の表土除去などの除染)
- 放射性廃棄物処理対策  
など

- 県民からの相談窓口の設置
- 放射能に関する理解促進
- 原子力防災訓練の実施  
など